



歳入の合計は前年度と比べて
5億9,692万円の増額

歳入の主な増減項目について

- 地方税 2,163万円の減
町民税（個人町民税（所得割）、法人税）の減額
- 使用料及び手数料 2,925万円の減
雪不足による赤倉温泉スキー場リフト使用料の減額
- 繰入金 3億5,781万円の増
貯金（財政調整基金、減債基金、公共施設等適正管理基金等）の取り崩しの増
- 国庫支出金 8,159万円の減
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、道の駅整備費負担金並びにデジタル田園都市構想交付金の増、感染症対応地方創生臨時交付金の減
- 県支出金 1,982万円の増
第78回国民スポーツ大会開催交付金の増

用語の解説

- 議会費・・・議員の報酬などの経費
- 総務費・・・行政全般の運営管理などの事務経費
- 民生費・・・障がい者や高齢者、子育てなどの福祉にかかる経費
- 衛生費・・・保健や環境・衛生の向上にかかる経費
- 労働費・・・雇用対策や人材育成、勤労者支援などにかかる経費
- 農林水産業費・・・農林水産業の振興・管理や整備にかかる経費
- 商工費・・・工業や商業、観光の振興にかかる経費
- 土木費・・・道路や橋、町営住宅などの設備にかかる経費
- 消防費・・・消防や防災にかかる経費
- 教育費・・・小中学校や生涯学習、体育活動などの経費

令和5年度 決算報告

歳入の総括

一般会計の歳入総額は、81億686万円。
前年度と比較すると5億9,692万円の増額で、率にして7.9%の増となりました。町税は前年比2.6%の減で、収納率は98.5%と、昨年度と同率となりました。歳入の44.1%を占める地方交付税は、普通交付税が前年比1.2%増の30億2,449万円、特別交付税が前年比2.2%増の5億5,351万円となり、全体で前年比1.4%の増となりました。分担金及び負担金については、ほ場整備の調査を行ったため、また、県支出金並びに諸収入につきましては、第78回国民スポーツ大会の開催により増加しております。ふるさと納税については、前年比1億543万円増額の2億4,612万円となりました。また、繰入金については、前年比60.6%増の9億4,846万円を基金から取り崩しております。
歳入に占める自主財源は34.3%であり、国の地方財政対策や県の事業推進に大きく左右される状況に変わりありません。

一般会計財源内訳歳入

81億686万円 (前年比)		
町税	8億314万円	▲2.6%
地方譲与税ほか	2億8,476万円	0.5%
地方交付税	35億7,800万円	1.4%
分担金及び負担金	9,240万円	14.4%
使用料及び手数料	9,559万円	▲23.4%
国庫支出金	6億5,980万円	▲11.0%
県支出金	4億1,910万円	▲5.0%
財産収入ほか	8億3,792万円	46.7%
町債	3億8,710万円	▲6.5%
繰入金	9億4,905万円	60.5%

歳出の総括

歳出の総額は、77億8,178万円。
前年度と比較すると6億9,628万円の増額、率にして9.8%の増となりました。
特徴的な事業は、コロナ対策、物価高騰対策として、物価高騰対策給付金事業、物価高騰対応プレミアム商品券事業、燃料価格高騰対策燃料券配布事業等の実施により、総事業費1億8,668万円となりました。
全国大会として、雪不足に悩まされながらも、多くの方々のご協力のもと、第78回国民スポーツ大会の準備・運営を行いました。
施設関連では、新たな町の情報・魅力の発信施設として、道の駅もがみを整備しました。一方、昭和53年に建築して以降、長く愛されてきました、町民体育館の解体を行いました。
歳入との差し引きでは、3億2,508万円の黒字となったものの、貯金である基金残高は前年比1億2,462万円の減となりました。町では今後も、大切な財源をもとに住民サービスの向上に努め、自立した規律ある財政運営を行ってまいります。

一般会計財源内訳歳出

77億8,178万円 (前年比)		
議会費	7,728万円	▲0.9%
総務費	19億3,594万円	33.1%
民生費	11億4,055万円	▲1.1%
衛生費	11億840万円	5.6%
労働費	788万円	21.1%
農林水産業費	4億1,075万円	▲11.9%
商工費	6億7,976万円	64.3%
土木費	5億126万円	▲26.8%
消防費	2億765万円	▲9.8%
教育費	9億5,029万円	23.9%
災害復旧費	318万円	▲86.6%
公債費	7億5,501万円	0.3%
諸支出金	383万円	▲16.0%



歳出の合計は前年度と比べて
6億9,628万円の増額

歳出の主な増減要因について

- 総務費 4億8,151万円の増
ふるさと納税に関する経費、物価高騰対策支援給付金給付事業、基金積戻し等
- 民生費 1,276万円の減
児童手当、ふれあいの里修繕、児童遊園修繕の減
- 衛生費 5,873万円の増
病院事業特別会計への繰出金
- 農林水産業費 5,566万円の減
感染症対応燃料価格高騰対策支援金事業、産地生産基盤パワーアップ補助金事業の減
- 商工費 2億6,590万円の増
道の駅整備事業
- 土木費 1億8,335万円の減
暖冬・降雪量の減による除雪対策費の減
- 消防費 2,253万円の減
小型ポンプ付積載車事業入事業の翌年度への繰り越し
- 教育費 1億8,326万円の増
国民スポーツ大会町実行委員会補助金、町民体育館解体、温水プールろ過装置交換等

